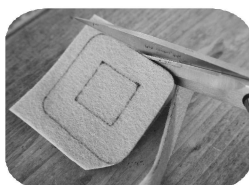


型紙作り

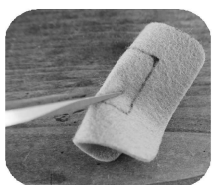


型紙は厚紙に貼り、線上を切り抜きます。(のりはスティックのりがおすすめ。) 切り抜きはカッターで。

裁断



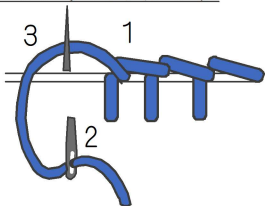
フェルトに写す時は消えるチャコペンが便利です。細い油性マジックでも良いです。写した線が残らないように線の内側をカットします。マジックを使った際は特に注意しましょう。切り抜きは切り目を入れてから、線を切り落とすようにカットします。



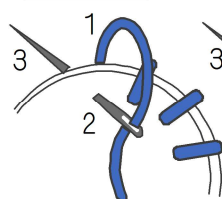
小さなパーツは型紙をあててしっかり固定しながら直接カットすると楽です。

縫い方とステッチ

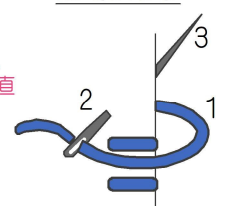
ブランケットステッチ



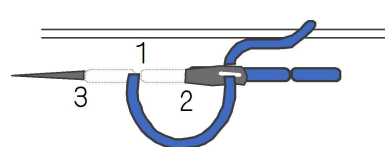
巻きかがり



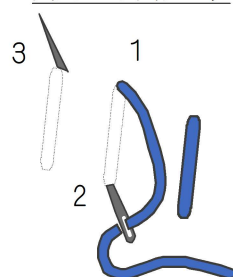
たてまつり



返し縫い



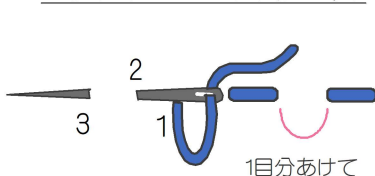
ストレートステッチ



カーブの辺に対して糸が垂直に！

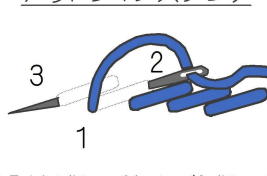
辺に対して糸が垂直になるよう針を斜めに刺します。

並縫い(ランニングステッチ)



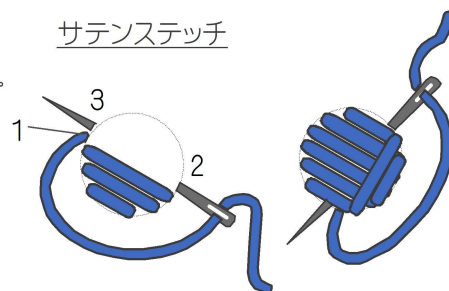
1目分あけて

アウトラインステッチ



半分だけ縫い重ねながら縫います。

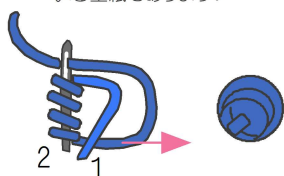
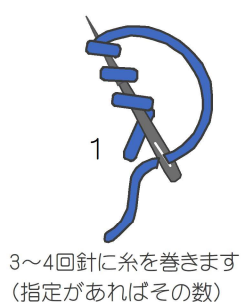
サテンステッチ



間隔を詰めて縫ったら90度方向を変えて上から重ね縫います。

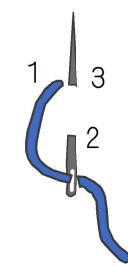
フレンチノットステッチ

フレンチノットステッチと表記している型紙もあります。

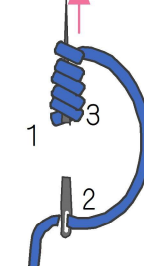


針をクルッと返して1の1mm~1.5mm離れた所に刺します。矢印→の方向に糸を引き締めてから針を引き抜きます。

バリオンステッチ



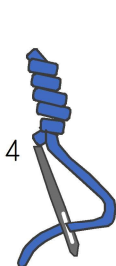
1と3は少し離して



巻いた糸を押さえながら針を引き抜きます。



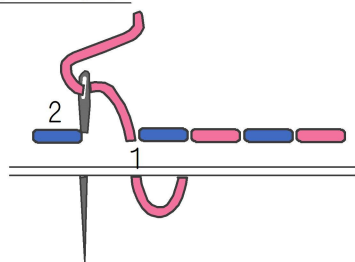
矢印の方向に糸を引き締めてたるみがないように。



2と同じ場所に刺し、引き抜いて形を整えます。

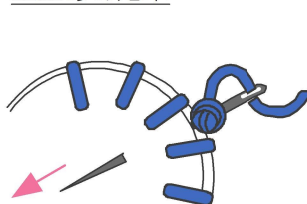
完成！

ミシン目縫い



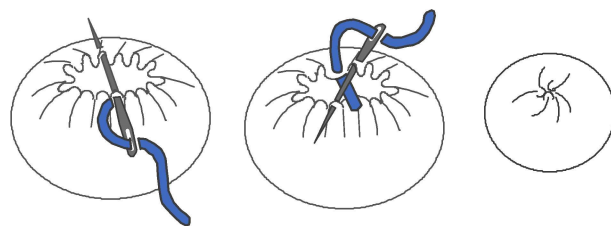
並縫い後、糸の通っていない部分を並縫いで縫い戻ります。できるだけ垂直に針を刺しながら縫うとよりしっかり縫うことができます。

玉止めの始末



縫い目の間(フェルトの間)から針を出し、玉止めをしたらまた同じ所に針を刺し戻して引き入れます。

縫いしぼった後の始末



対角線上にヒダをすくって糸を引き、それをぐるりと繰り返して閉じていきます。